

京都工芸繊維大学 美術工芸資料館 展示

南方熊楠 ～人、情報、自然～

Minakata Kumagusu

His personality, Informatics and Nature

主催：京都工芸繊維大学 美術工芸資料館、環境科学センター、情報科学センター
共催：南方熊楠顕彰館（和歌山県田辺市）
特別協力：国立科学博物館

2018年12月17日(月)～2019年2月23日(土)

会場：京都工芸繊維大学 美術工芸資料館

期間中、2018年12月22日(土)にシンポジウム、2019年1月12日(土)にギャラリートークを開催

休館日：日曜・祝日、年末年始（2018年12月29日～2019年1月6日）と2019年1月19日

時間：10:00～17:00（入館は16:30まで）

入場料：一般200円、大学生150円、高校生以下無料

＊ただし、京都・大学ミュージアム連携所属大学の学生は無料です。



南方熊楠

～人、情報、自然～

Minakata Kumagusu

His personality, Informatics and Nature

南方熊楠(1867-1941)は、森羅万象を探究した「研究者」とされてきましたが、近年の研究により、広く資料を収集し、蓄積して提供した「情報提供者」として評価されるようになりました。ここでは、日記、書簡、抜書(ぬきがき)、菌類図譜をキーアイテムとして熊楠が遺したさまざまな資料をご覧ください。新しい熊楠像を紹介します。本展示は京都工芸繊維大学の美術工芸資料館、環境科学センター、情報科学センターが共同で企画しました。また、展示内容は2017年12月19日から2018年3月4日まで東京上野の国立科学博物館で開催された南方熊楠生誕150周年記念企画展『南方熊楠 100年 早かった智の人』を基に構成されています。

Part 1 「熊楠の生涯」



最初の日記(14歳)

幼いころから天才的な記憶力を発揮し、博物学や語学に優れていたという南方熊楠。さまざまな資料を通して、熊楠の幼年期から在米・在英期、田辺定住後、そして晩年の様子など、彼の生涯を概観します。



在米時の熊楠



昭和天皇ご進講時の熊楠



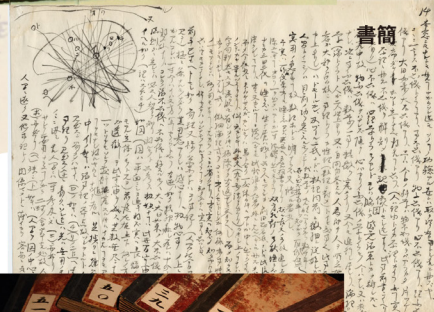
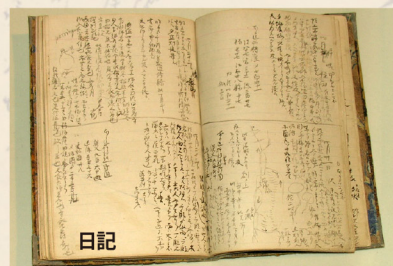
自宅書斎にて(1931年)

- シンポジウム「100年後の視点からみた熊楠」
2018年12月22日(土) 13時30分～15時30分
会場: 60周年記念館 1階 記念ホール
- ギャラリートーク(館内同時開催の別展示と共催)
2019年1月12日(土) 13時00分～14時00分

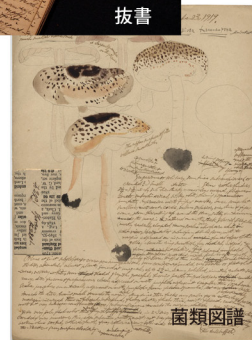


植物採集行記念写真(右端:熊楠、1902年)

4つのキーアイテム



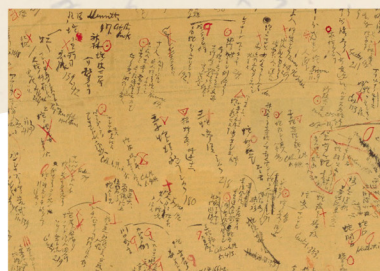
抜書



菌類図譜

Part 2 「情報と熊楠」

「ロンドン抜書」、「田辺抜書」は熊楠のデータベースと言えます。後年、彼は抜書に蓄積した情報や蔵書中の記載などを駆使して「十二支考」を執筆しました。現在の情報学やインターネット環境などの視点から熊楠の研究手法を考察します。



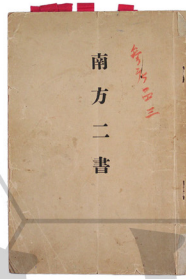
「十二支考」腹稿(部分、原稿執筆のためのメモ書き)

Part 3 「熊楠と自然」

熊楠は自然からも多くの知識、情報を得ました。「菌類図譜」はその結実です。また、熊楠の実践活動が神社社会反対運動と田辺湾神島の天然記念物指定運動です。近代日本における環境保護運動家の先駆けとされる熊楠と自然とのかかわりを紹介します。



現在の神島



南方二書

同時開催 ● おいしい広告2:ヨーロッパと日本の酒・煙草・菓子のポスター 会期:2018年12月17日～2019年2月23日
● 近代日本のステンドグラス―木内真太郎資料を中心に 会期:同上

京都工芸繊維大学 美術工芸資料館 <http://www.museum.kit.ac.jp/>
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
Hashigami-cho Matsugasaki Sakyo-ku Kyoto-shi Kyoto 606-8585 Japan
tel 075-724-7924 fax 075-724-7920 e-mail shiryokan@jim.kit.ac.jp

アクセス:(電車)京都市営地下鉄丸線「松ヶ崎駅」1番出口から右(東)へ約400m、四つ目の信号を右(南)へ約180m
(バス)京都バス「高野泉町」下車、馬橋を渡り左へ約200m

